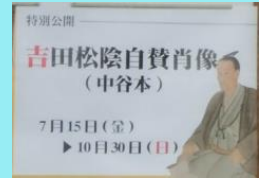




山口県立山口博物館だより

<http://www.yamahaku.pref.yamaguchi.lg.jp>



2016年10月号

◆ 常設展も魅力いっぱい！

この夏の猛暑から一転、空気も涼しくなり秋の到来を感じさせる気候になってきました。7月の再オープンから2か月半。山口博物館では、魅力いっぱいの展示物を常設展で展示しています。

2階受付を通ると、理工展示室に大きな煙突が展示されています。これは、萩市の反射炉を模したもので、「なぜ煙突は高いのか」を体験できるコーナーです。私たちの生活の中でよく見る煙突は、数十メートルの高さがあります。「けむりをより高いところ出すためかなあ。」と覚えてしまいましたが、そこには意外な理由がかくされていました。実際に体験し、展示室の説明文と合わせて答えを確認してみましょう。

一つフロアを上がると地学展示室があります。ここでは、大きなティラノサウルスとヤベオオツノジカの骨格標本(複製)が皆さんをお迎えします。それらの間には、触ることのできる本物の恐竜化石(腕の骨と足の骨)があります。これらの恐竜たちはなんという名前なのか、いつ頃生きていたのかを、実際に触りながら御確認ください。

その二つ上のフロアは考古・歴史展示室です。「特集 長州藩幕末維新資料」として、幕末に関係のあるたくさんの資料が展示されています。その中でも目玉は「吉田松陰自賛肖像(中谷本)」です。歴史展示室の松下村塾内ケースで、10月30日(日)まで期間限定で特別公開していますのでぜひ、御覧ください。

また紹介した展示室以外にも、動物・植物の展示室や天文展示室もあります。このように、見て触って、体験できる展示が山口博物館にはたくさんあります。皆様の御来館を心からお待ちしています。



◆ 「サイエンスやまぐち」がもうすぐ始まります

10月28日(金)から11月13日(日)までの日程で「サイエンスやまぐち」が開催されます。夏休みの自由研究や学校での研究を中心に200点以上の作品が、山口県内から山口博物館に集まります。右の写真は、昨年度の優秀作品の一つです。応募された作品は、研究の視点や実験方法、まとめ方など参考になることがたくさんあります。山口県内の児童生徒の力作に御期待ください。

なお、「サイエンスやまぐち」の開催のため、10月6日(木)から11月18日(金)まで3階理工体験コーナーを一部(数日の間はすべて)閉鎖します。

ダムの干上がったその植物たちⅢ



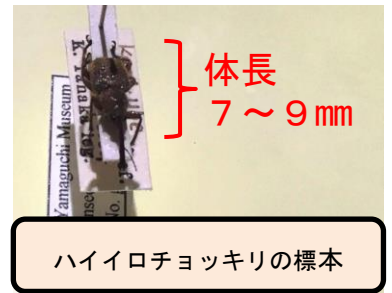
昨年度の優秀作品

◆ 本格的な秋に向けて…

山口博物館周辺の木々も色づき始め、植物たちは本格的な秋の準備を始めたようです。また、山口博物館と山口県埋蔵文化財センターの間にある春日山では、真夏から秋の準備を進めていた昆虫もいました。

8月のある日、春日山にあるコナラの木の下にドングリの実がついた枝がたくさん落ちていました。実に目をやると、ぼうし（^{かぐと}殻斗）の部分に小さな穴が…。ふしぎに思って調べてみると、右の写真のハイロチョッキリという昆虫が卵を産みつけて、枝ごと地面へ落としていたことが分かりました。とても小さなハイロチョッキリは、命を次につなげるため小さな口で何時間もかけて枝を落とすそうです。寒くなる秋を前に、真夏から準備している生き物もいるんですね。

このハイロチョッキリの標本は、動物展示室で秋の昆虫たちと一緒に展示してあります。今後も季節ごとに昆虫を展示していく予定です。



◆ 10月の行事予定（詳細・申込みは博物館ホームページへどうぞ）

「遺跡ウォークラリー」

内容：田布施町の遺跡を歩きながら探訪する。
日時：10月8日(土) 13:00～16:00
場所：田布施町
対象：一般
定員：20名

【要申込】



「地質めぐり（第2回）」

内容：須佐高山の磁石石を見学する。
日時：10月16日(日) 13:00～16:00
場所：萩市
対象：一般
定員：26名

【要申込】



「ロボット教室」

内容：パソコンを使ってロボットのプログラミングを体験する。
日時：10月16日(日) 13:30～15:00
場所：当館（別館）
対象：一般
定員：20名

【要申込】



■ お問い合わせ ■

詳しくは山口博物館のホームページ
(For School)を御覧ください。

<http://www.yamahaku.pref.yamaguchi.lg.jp/>



山口県立山口博物館

〒753-0073 山口市春日町 8-2
TEL 083-922-0294
FAX 083-922-0353